

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 5 分前に開店する 村田 昭治 (慶応義塾大学名誉教授)

- モノが売れないと言って久しい。世界的な景気低迷、賃上げの抑制、モノ余りによる需要の減退、人口減による市場の縮小…。だが、こうした外部環境だけが原因なのでしょうか。戦後、日本を悪くしたものが 3 つあります。「能率」「マニュアル」「標準化」です。商売に多くの無駄がはびこっていた時代には、これらが「3 種の神器」となって、差別的優位性をもたらしました。
- コンビニエンスストアが成長した原動力は、まさしくこの「3 種の神器」にあります。しかし、多くの企業が競って効率化を進めていった結果、個性のない店が蔓延し、どこの店で買っても大差ないと思われるようになりました。いわば「商売のコモディティ（特徴のない普通の）化」が、消費者離れを起こしたのです。この「3 種の神器」がもたらしたさらなる弊害は、そこで働く人間もコモディティ化させたことです。百貨店の売り場で聞く「いらっしゃいませ」の声は、何と事務的で冷たいことでしょうか。どうしても店に寄ってほしいという気持ちを感じられないのです。午前 10 時開店ならきっちり 10 時にならないと扉を開けない。お年寄りが列を作って待っているのなら、なぜ 5 分でも早く店に入れてあげないのでしょうか。百貨店の経営不振の根っこに店側の都合や規制を優先する姿勢があるように思えない。
- 日本から「商いの心」が薄れ、会社の中が乾燥化してしまったのは、経営者自身が愛情を失っているからではないでしょうか。従業員に進んで声をかけている経営者は驚くほど少ないし、自ら売り場に立ってお客に思いを伝えている経営者は皆無に近い。景気の動きは一喜一憂するのではなく、愛情の糸をもう一度紡ぎ直すところからやり直さなければならない。  
(参考:「日経ビジネス」2008 年 11 月 3 日号)

## 人事・労務について

### 追い詰められても耐える

#### 松崎一葉 (筑波大学大学院教授)

- どんな環境でも冷静さを保ち続けるタフな精神力は、必ずしも先天的なものではない。逆境に強い超一流の人材には、思考パターンや心の持ち方にかくつかの共通項がある。
- 極限状態に強くなるための四つの心構え
  - 「理」だけでなく「情」で行動する (情緒的共感性)
  - どんな環境にも意味を見出す (有意味感)
  - どんなときにも楽観的に物事を見る (経験处理的可能感)
  - つまらない作業でも段取りを組む (全体把握感)

(参考:「日経ベンチャー」: 2009 年 1 月号)

## 新規成長分野

### 自転車のニッチな部品技術

- 「ニッチでもよいから独創的な製品を開発し、輸出に力を入れる。それに絶対に数を追わないことが生き残りにつながった」。自転車用ペダル一筋に 60 年を超える歴史を持つ三ヶ島製作所 (埼玉県所沢市) の萩野敏行社長は自信ありげにこう話した。
- 今、自転車の国内市場はちょっとしたブームだ。団塊世代を中心として健康志向の高まりに加えて、世はエコブーム。ガソリンを使わない自転車は「都市型の交通手段として見直されてきた」のだ。自転車産業は、部品メーカーがそれぞれ自社仕様で開発し、完成車メーカーはそれを調達して自転車に仕上げる方式が一般的なのだ。三ヶ島製作所は、競輪用ペダルで 100% のシェアを占めるなど高級品での高シェアが同社の特徴である。

(参考:「WEDGE」2009 年 2 月号)

## 古典に学ぶ

### 相手の魂に

「単に教科の内容を教えるだけでも、実に容易ならざる準備と研究とを要するわけですが、さらに眼を転じて、教育の眼目である相手の魂に火をつけて、その全人格を導くということになれば、私達は教師の道が、実に果てしないことに思い至らしめられるのであります」  
(参考: 森住三「修身教隠録抄」: 致知出版社)